



緑丘トピックス

平成 28 年度
第 6 号

12月21日(水)発行



Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校 TEL/FAX 0142-24-3021



学校って必要ですか？ 校長 吉瀬 献策

師走を迎え、巷では、今年の流行語大賞に「神ってる」が選ばれましたが、学校を取り巻く目下の社会情勢や教育情勢を鑑みそれを一言であらわすと、自分は「多様」の文字を思い浮かべます。

教育に言及しますと、社会構造の劇的な変容に伴い、教育の抱える問題も複雑化・深刻化し我々教員もその対応に追われています。そうした学校現場をしてか、近年の傾向として、問題解決へ向けた法制化の傾向が見てとれます。「いじめ防止対策推進法」が施行されて3年、今年の4月には「障害者差別解消法」が施行されました。さらに、不登校生徒問題について、学校外の義務教育についての法制化が進められています。こうした背景には、従来の教育体制のもとでの対応の不十分、限界が認められることや、学校が行政や各種機関との連携のもとに問題解決に当たっていくことの必要性が内在しています。

学校外の義務教育についていうと、合法化されても問題が未整備な中、学外の教育機関で学習指導要領に基づく学力を身につけぬまま社会に出て行くとしたらその子どもたちの行く末はどうなるのか、イメージはつかめません。この件について考えるとき、映画監督の羽仁 進氏の娘、未央さんのことを想起します。父親の仕事の関係で幼少期から海外生活を送ることも多かった彼女は、小学4年生の頃、学校をやめホームスクーラーになるなどユニークな教育を受けていました。英語はもとよりフランス語やスワヒリ語にも通じ、後にメディアプロデューサーやエッセイストとして活躍しました。彼女の存在を知ったとき、当時、学校教育に疑問を抱き通学が苦痛だった学生の自分は共感と羨望を抱いたのを記憶しています。惜しくも彼女は2014年に亡くなりました。教育の多様性の一つを体現した彼女自身に今日の教育の在り方や学校の行く末についてインタビューできないのは残念です。

どうやら社会全体で新しい価値観の創造を図り発想を進化させる時機を迎えたようです。

学校ってなんなのか、お屠蘇でもなめながら思案してみたいと思います。

授業改善に向けて 公開授業を実施

11月1日から7日までの1週間、保護者や地域の方々に生徒の様子を知ってもらうこと、授業改善に向けて教員相互が研修を深めることを目的に「公開授業」を行いました。期間中は全教科・科目の授業を公開。日頃から本校教員が実践している個に応じた学習や、グループで課題解決に向けて考えたり発表したりする授業など、生徒たちは生き活きと学習活動に取り組んでいました。

このほか11月には、教員の教科指導力の向上をめざす「教科指導講座（北海道教育委員会主催）」も本校を会場校に国語科と地歴公民科で行われ、他校から多くの先生方が来校されました。講座では「主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）」をテーマに研究授業を行ったほか、各校の取組について協議を深めました。

本校は、こうした様々な授業研究に取り組んでおり、先進校としても注目されています。授業改善と教員の指導力向上により、生徒の学力や学習意欲をより高めていきたいと考えています。ぜひ本校の授業をご参観下さい。



2学年はインターンシップ 3学年は一般受験本番！

11月17・18日の2日間、2学年の希望者を対象に「インターンシップ」を実施しました。今年度は64名の生徒が参加し、市役所や警察署・消防組合、市内の保育所や病院、ホテル・飲食店などでそれぞれ職業体験。地域の経済やくらしを支えている社会人の方々の在り方に触れ、職業についての理解を

深めるとともに、働くことの意義について考えることができました。ハローワークはじめ地域の関係諸機関、受け入れていただいた企業の皆様に深く感謝いたします。

また3学年の生徒たちは、いよいよ「大学入試センター試験」までひと月を切りました。この間、4年制大学や看護専門学校などでは推薦入試が行われ、室蘭工業大学など地元国公立大学や道内トップレベルの私大・看護系でも合格を勝ち得ています。残すところはセンターをはじめとする一般受験に臨む生徒たちです。年末年始は最後の大詰めとなる冬期講習も実施されます。1・2学年の生徒たちも先輩学年の高い志と姿勢に学び、進路実現に向け共に歩んでいきましょう。

伊達緑丘ここにあり！ 意地と伝統で全道へ!!

11月18～21日に旭川市で開かれた「第66回全道高等学校演劇発表大会」に本校演劇部が出演しました。

演劇部の全道出場は2年ぶり17回目。今回は1965（昭和40）年夕張での炭鉱事故を描いた『炭鉱は生きている』という作品を上演しました。夕張南高校演劇部員（当時）が綿密な取材によって脚本を完成させたものの、「未解決」と圧力がかかり上演が果たされなかった高校演劇伝説の作品。「いまを生きる私たち（高校生）が現代に甦らせることの意義は大きい」と、内容を改め半世紀ぶりに復活させました。上演直前に「北海道新聞(夕刊)」で大々的に取り上げていただいたこともあり、会場には多くの元炭鉱関係者の方々も観に来ていました。命の尊さを訴える部員たちの迫真の演技に、客席は大きな感動に包まれました。

また12月11日には、伊達市総合体育館で「第28回全道ユースフットサル選手権大会」にサッカー部が出演し、見事優勝（3連覇）を達成して全道大会への切符を手に入れました。今回は昨年までと違い3学年の選手は出場せず、1・2学年の選手のみで挑戦。キャプテンを中心に攻守にハードワークをこなしながらチャンスを作り、結果を出すことができました。ベンチメンバーも含め、全ての選手たちが自



分の役割をそれぞれ果たし、全員で勝ち得た優勝でした。サッカー部の選手たちは1月に釧路市で開催される全道大会に出場します。「持ち前のチームワークを武器に、一つでも多く勝ち上がることができるよう練習を積みたい」と気合い十分です。

このほか、秋の新人戦などでは多くの部活が躍動し、昨年以上の好成績を残してくれました。とくにバドミントン部・ソフトテニス部・卓球部がそれぞれ全道大会に駒を進めています。また放送局も「全道放送コンテスト」にビデオメッセージ部門で出場しました。文武両道を合い言葉に、先人たちが築き上げた伝統と実績を守っていこうと、現役生徒たちも頑張っています。これからも応援どうぞよろしくお願いします！

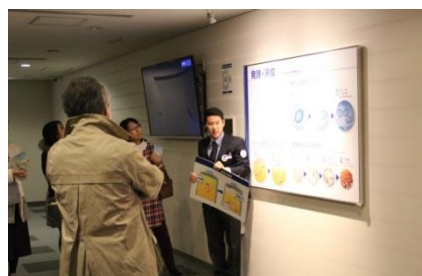
とみどり Midorigaoka よい撮い緑 2016年10・11月

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 11月1日(火) 進学相談会



伊達市総合体育館を会場に1・2学年対象の相談会を行いました。
道内から28の大学、45の専門学校に参加いただきました。

11月5日(土) PTA研修旅行 ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆



今年度の「PTA研修旅行」を札幌市で実施しました。
工場見学や劇団四季ミュージカル『ウィキッド』観劇を行いました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 12月2日(金) ピア・サポート研修会



ホームルームや委員会のリーダーを対象に研修会を行いました。
ワークショップを通じて上手な話し方・聴き方などを学びました。

11月29日(火)～12月2日(金) 後期中間考査 ◆◆◆◆



日頃の学習成果をはかる「後期中間考査」が行われました。
放課後などは生徒どうしが教え合ったりする光景がみられました。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 12月15日(木) ALT来校



ALTのステファニー先生を招き、英語の授業を行いました。
生徒たちは積極的にコミュニケーションを学びました。

—— ホームページでも学校生活を紹介しています! ——

行事をはじめ、日々の生活や配付物(通信等)を日々公開・更新しております⇒ <http://www.datemidorigaoka.hokkaido-c.ed.jp>



1月の行事予定表

冬季休業 ⇒ 12月22日(木)～1月12日(木)
センター試験 ⇒ 1月14日(土)～1月15日(日)
学年末考査(3年) ⇒ 1月18日(水)～1月20日(金)

日 曜	行 事 予 定
1 日	元日 年始休業 冬季休業
2 月	年始休業
3 火	年始休業
4 水	
5 木	冬期講習(後期)① ※3年希望者
6 金	冬期講習(後期)②
7 土	冬期講習(後期)③
8 日	冬期講習(後期)④
9 月	成人の日、冬期講習(後期)⑤
10 火	冬期講習(後期)⑥
11 水	
12 木	↓
13 金	冬季休業明け清掃・LHR、実力考査①
14 土	大学入試センター試験(1日目)
15 日	大学入試センター試験(2日目)
16 月	実力考査②、センターリサーチ(3年)
17 火	
18 水	学年末(卒業)考査①
19 木	学年末(卒業)考査②
20 金	学年末(卒業)考査③、第3回高2公務員模試(2年)
21 土	進研総合学力テスト(1・2年) ※1年は全員模試 看護医療基礎学力判定マーク模試(2年)
22 日	英語検定
23 月	
24 火	
25 水	
26 木	職員会議、ALT来校
27 金	薬物乱用防犯教室(1年)、進路希望調査(1・2年)、卒業認定会議
28 土	第2回公務員基礎力判定模試
29 日	
30 月	3年家庭学習期間(～2月27日)
31 火	小論文模試(2年)

★諸事情により変更となることもありますので、ご了承ねがいます。

生徒による見学旅行報告も 2学年「保護者懇談会」

12月16日18時から、本校視聴覚教室において2学年「保護者懇談会」を実施しました。はじめに、各クラスの代表生徒たちによる「見学旅行報告」が行われ、訪問先で撮影された様々な写真を織り交ぜながら、4泊5日にわたる研修で学んだことを説明していきました。スライドや原稿などはすべて生徒たちの手によるもので、笑顔あふれる表情の写真が画面に映し出されると、保護者の方々もニコリ顔を緩ませていました。見学旅行の報告に続いては、進路指導部長の永田先生による進路の話。3学年の進路決定状況などのデータを紹介しながら、昨今における受験の傾向と対策、社会情勢や入試の変化等について説明しました。

永田先生は「受験までそう長い時間が残されているわけではない。進路志望の決定に向け、家庭でも十分話し合いを深めてほしい」と伝えました。出席いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。

